



かどっぴー・がわっぴー

ふれあい

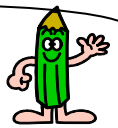
平成26年4月 NO1
発行 門川町教育研究所
所長 新原とも子
TEL 63-1566
五十鈴J学校内(教育相談室)

新しい学年がはじまり、小中学校とも新1年生もそろって、元気いっぱい勉強する姿が見られるようになりました。門川町教育研究所では、今年も確かな研究・実践に取り組み、その成果を家庭や地域、学校に情報発信していきます。

今月は、門川町が今年力を入れる「最重点施策」と、「学力向上のための3つの実践」と「家庭での学習習慣づくり3つの実践」について紹介します。



**教育研究所は、今年も確かな研究・実践に取り組み、
子どもや家庭、先生を応援します！**



門川町 最重点施策

確かな学力の向上を図る教育の充実 ～町立学校の子どもの確かな学力を保证する～

学校では・・・

学力向上のための3つの実践に取り組みます。

計画・実践・改善の仕組みづくり

各学校で学力向上プランを作成し、教育委員会と相談しながら実践、評価、改善を行う仕組みをつくり、学力向上に取り組みます。

授業の工夫・改善

基礎・基本の定着と活用する力を伸ばすために、しっかり話し合う活動や見届ける指導を行うなど、メリハリのある授業をつくりあげます。

学力向上の組織づくり

学力向上のための調査・研究やミーティングを行うなど、学力向上のために行う各学校の具体的な取組を強化します。

家庭では・・・

学習習慣づくりのための3つの実践に取り組みます。

家庭学習習慣の定着

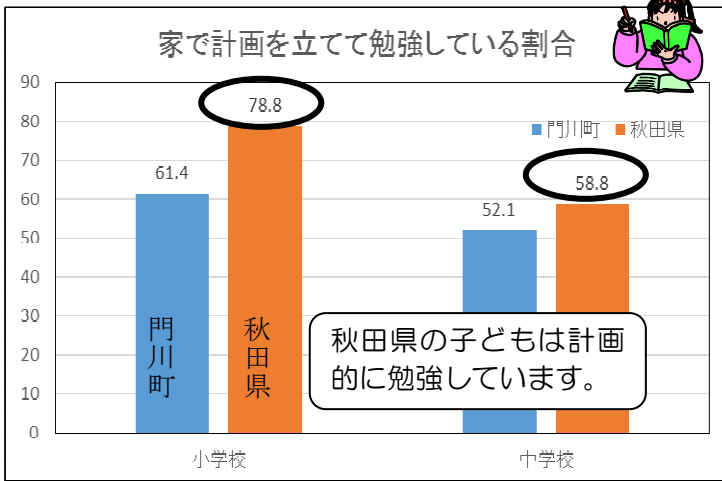
子どもの成長に合わせて、家庭学習に目を配ったり、一声かけたりしながら、やる気と自信をもたせるようにしましょう。

家庭読書の実践

1日のうちどこかの時間でテレビを消して、10分から30分間、本と向き合う時間をつくるようにしましょう。

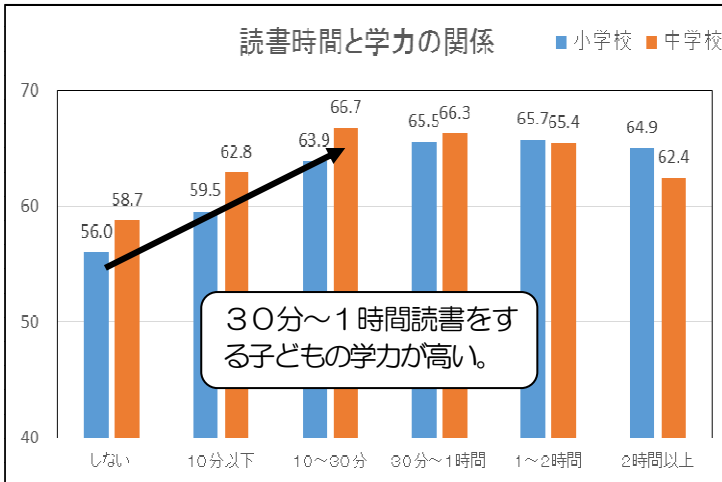
テレビ・ゲーム・携帯の約束づくり

テレビ、ゲームの時間や携帯の使い方のマナーについての約束をつくって、勉強や人間関係に支障がでないようにしましょう。



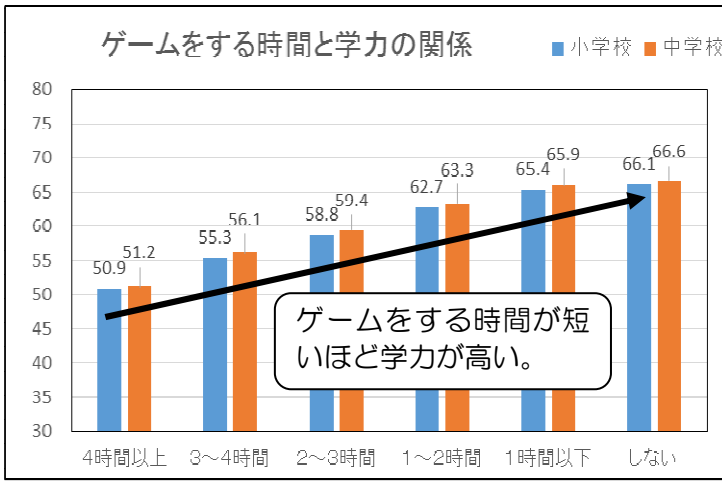
家庭学習の習慣をつくろう！

全国学力調査（25年度）での児童生徒の意識調査「家で計画を立てて勉強する」ことについて、学力全国一と言われる秋田県と門川町を比較すると、小学校では約17%、中学校では約7%、秋田県の児童生徒が上回っていました。秋田県のご家庭では、家で勉強することが当たり前になっていることがわかります。家庭学習の習慣が学力日本一を支えているのです。



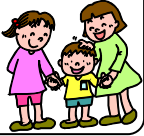
家庭読書を実践しよう！

同じく意識調査で、読書と学力の関係を調べたところ、読書を30分～1時間する子どもの学力が高くなりました。読書をまったくしなくても、2時間以上としすぎても問題があるようです。家庭での勉強とバランスを取りながら読書をするのが、最も効果的なようです。1日のうちのどこかでテレビを消して、10分でも20分でも読書をするのが学力向上につながります。



テレビ・ゲーム・携帯の約束をつくろう！

ゲームをしない子どもは、4時間以上する子どもと比べると、小中学校とも約15%学力が高くなっています。ゲームをする時間が学力に影響していることがわかります。テレビ、ゲーム、携帯のルールを家庭でつくって、勉強や人間関係に影響がでないようにする必要があります。



子どもの教育や子育てで、悩んでいませんか？

困った時には、**教育相談室に気軽に電話をしてください。**

相談電話（門川町教育相談室）
63-1566

~~~~返信欄（教育研究所便り「ふれあい」へのご意見やご感想をお聞かせください。）~~~~